

亀の子クラブ

環境ボランティアサークル 亀の子隊 通信

NO.79 平成20年10月6日号

発行責任 亀の子隊事務局

小さな隊員たちががんばっています

毎月1回の活動が始まって以来、特別活動を除いて初めて午後の活動となりました。



ことができました。

活動30分前に現場について待っていると、ドリームの会の3年生が2人来ました。ホッとしました。時間が迫ってくると

次々と隊員や親亀さんたちも来て、いつものように活動を始め

2008年9月28日
ゴミの総重量
120KG



浜は、愛知県に降った8月豪雨の影響で、それなりのゴミがありました。川に育つ葦も波の線になって打ち上げられていました。目に付いたのは、ガラス瓶。それも割れているものが非常に多くありました。

あとはやはり、家庭ゴミですね。チリトリ、プランター、クツ、サンダル、カゴ、換気扇のフード、壊れたゴミ箱。もちろん、ペットボトルもたくさんありました。ほかには釣りのシーズンになると必ずあるエサ袋や釣り針の袋、絡んだ糸、ハンドボール、人形など。

今年、小学校の低学年・保育園の子が何人も亀の子隊に入りました。その子たちが亀の子隊のTシャツを着て一生懸命ゴミを拾う姿はとてもうれしいものです。小さな子どもたちはお母さんと一緒にうれしそうに活動しています。

そのなかで、一人の女の子は袋を持って、ひとりで次から次へとゴミを集めていました。活動の終わりにも集まったゴミを一生懸命に運んでくれました。



をいろいろ感じてくれればいいのです。そして、「きれいな海を守る心」「ふるさとの海を大切に
する心」「自然を愛する心」を育ててほしいと思います。

浜にはスナメリの骨らしきものがいくつかありました。それを見つけてお母さんと相談する姿も見られ、ほほえましく感じました。また自分の手よりも大きな石を大事そうに抱えている小さな隊員もいました。こうして海の事